

車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和5年2月号③】

よりよい教育活動の創造のために

《令和4年度重点目標》『互いに認め高め合い 夢に向かって挑戦し続ける 品格のある鹿島中生』

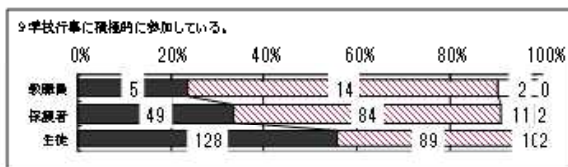
前号に引き続き、学校評価アンケートの結果をお伝えします。

【健康で忍耐強い生徒の育成】

9 学校行事に積極的に参加している。

教職員は0.3ポイント減少しました。実施内容の変更や制限はあっても、よりよい学校行事の実現を目指す教職員の意識の高さから減少したものと考えられます。

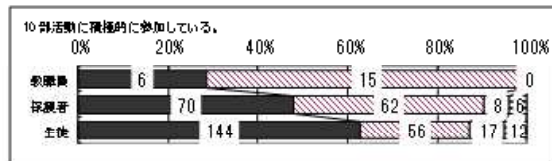
▶ 様々な制約がある中でも、よりよいものを目指して目標達成に向けて忍耐強く努力する生徒達の姿は大変素晴らしいと思います。今後も、生徒の成長の機会と捉え、創造性を発揮し、成就感や達成感を感得することができるよう、支援に努めていきたいと思っています。



10 部活動に積極的に参加している。

保護者、生徒が0.2ポイントと減少していますが、教職員では0.2ポイント増加しました。多くの教師が力を入れていたことがうかがえます。

▶ 今後も、体と心の面を伸ばし、達成感や成就感を自信につなげていくことができるよう指導にあたっていきたいと思っています。



11 何事にも諦めることなく、ねばり強く取り組もうとしている。

教職員と生徒で0.1ポイント増加しました。様々な制限がある中で生徒たちの取り組みが評価されたものと考えられます。ただ、教師の評価があまり伸びないのは、「もっとねばり強く取り組めば、より向上が期待できる」と考えているからだと思います。

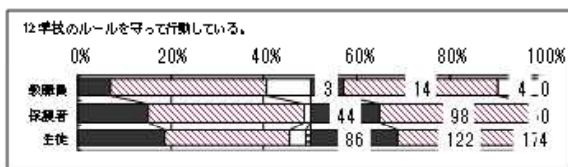
▶ 「諦めない、ねばり強い姿勢」は鹿島中生に求められている課題です。地域の発展に貢献した先人からの学びや広く国内外で活躍する地元ゆかりの人々との交流など、自分を見つめ生き方を考える機会を充実させ、心に働きかけていきたいと思っています。



12 学校のルールを守って行動している。

生徒、保護者に対して、教職員の評価が低い背景には、更に向上の余地があるとの考えがあるからだと思います。

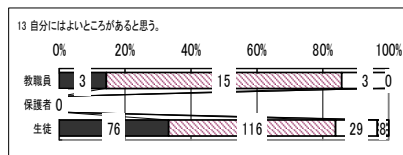
▶ 今後も、ルールや対応の見直しを図りながら、教師が同一歩調で指導するための情報の共有化を進め、規範意識の一層の高揚を図ってきたいと思っています。また、積極的に生徒の良さを認め、ほめていきたいと思っています。



13 自分によいところがあると思う。

生徒の評価が0.2ポイント増加しています。学年別では、2学年が昨年度より0.21ポイント増加しました。生徒の活躍の場が増えてきたことや、頑張ったこと、できたこと、小さな変化を、教師が共に喜び、認め、賞賛してきた成果の表れだと思います。

▶ 今後も、生徒自身に成長の手ごたえを実感させていくとともに、学校、家庭、地域社会の連携を密にし、社会全体で育てていく体制の構築に努めたいと思っています。

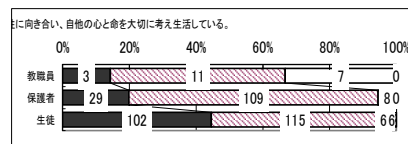


裏面に続きます。

14 性に対してまじめに向き合い、自他の心と命を大切に考え生活している。

教職員、生徒、保護者とも増加しています。これまで継続して性指導を実施してきている成果の現れだと思えます。

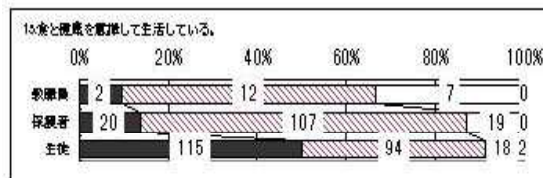
▶ 今後も、地域人材を積極的に活用し、養護教諭、学級担任等も巻き込んだ、意図的・計画的な性指導を引き続き行いたいと思えます。



15 食と健康を意識して生活している。

保護者では0.2ポイント・生徒は0.1ポイント増加しました。

▶ 栄養教諭・食育コーディネーターを中心に、学級担任等も巻き込んだ食育指導を行った成果が表れてきました。今後も、継続して、食育指導の充実を図っていきたいと思えます。



<学校関係者評価委員より総括>

- ホームページを常に更新をし、学校の取り組みや生徒達の学校生活を公開しており、保護者の方々も子供達の姿が見れて嬉しく感じるとともに、安心もしています。
- コロナ対策に関しては、本当にご苦労されていると思えます。今後も生徒達、そして先生方の健康に努めていってください。
- 今年度の中学校の取り組みは素晴らしいです。地域の方々とのふれあい等は、今、一番大切なことです。まだまだコロナ禍で大変な中ですが、今後もこういった活動を継続していくことを願っています。
- いじめ防止は困難な課題です。日々、生徒一人ひとりをよく観察し続けないと、すぐに根がはるものです。今後とも注意深くお願いしたいです。
- 先生方の働き方改革も、コロナを機に大胆に進めてほしいと思えます。
- 3年にも及ぶコロナ禍や自然災害の多い昨今ですが、教師と生徒の関係は、生徒評価にも表れているように良好と思われます。全校生徒による緑化活動や地域美化・郷土芸能やしめ縄づくり等、情操教育にも力を入れており、文武両道であり、学校全体の逞しさが感じられます。
- 公立学校の部活動を地域団体や民間に委ねる「地域移行」では、大人側の体制をどうするのかだけでなく、生徒達自身で部活動を運営する力を高め、それを支援していく視点も必要になります。少子化の今、部活動本来の姿を再度考えていくことが必要だと思えます。
- 引き続きコロナウイルス感染予防及びいじめ防止に取り組んでいってほしいと思えます。

※カラー版を本校ホームページ上でご覧いただけます。